

会社名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 吉田 大介 (コード：4388、東証マザーズ)
問合せ先	執行役員管理グループ統括 前田 忠臣 (TEL. 03-6801-8402)

**<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について**

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## ○開催状況

開催日時	2020年5月25日 15:30 ~ 16:30
開催方法	オンライン配信による開催
説明会資料名	2020年3月期 決算補足説明資料

**【添付資料】**

投資説明会において使用した資料

※ この書面（添付資料を含む。）は、有価証券上場規程施行規則第427条に基づき、公衆縦覧に供されます。



# 2020年3月期 決算補足説明資料

2020年5月25日

株式会社エーアイ

証券コード：4388





# 1. 企業概要

2. 2020年3月期 決算概要

3. 2021年3月期 事業方針

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役 吉田 大介
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西方一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	149,471,320円（資本準備金 119,270,000円）
市場	東京証券取引所マザーズ（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：40名 パート：10名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2020年3月末日現在）



## (企業理念)

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

**MISSION** 声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

**VISION** 音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

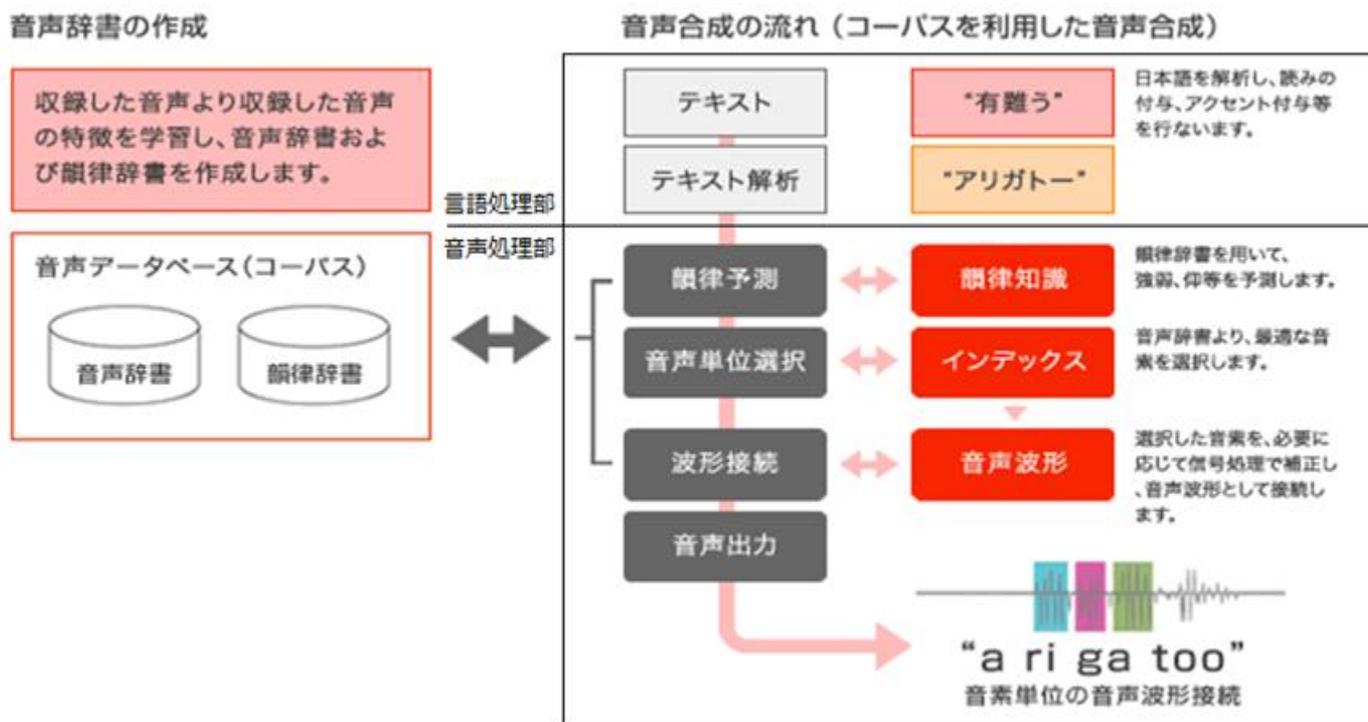
**VALUE** 音声技術のトップランナーで居続ける

1. 人が幸せになる技術・サービスを提供する
2. お客様と社員と共に未来をつくっていく
3. 日々、一歩一歩丁寧に歩んでいく

## (行動指針)

- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客様も社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。

従来の機械的な合成音ではなく、人間の肉声に近い自然な音声を実現した高品質音声合成エンジンです。人間らしく自然な音声なので、様々なシーンでナレーションの代わりに手軽に使用することができます。



## ①人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

## ②総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

## ③誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようなリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (売上の60~65%)	パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® 声の職人®</li> <li>・ AITalk® 声プラス®</li> <li>・ AITalk International®</li> </ul>
		ライセンス提供	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® SDK</li> <li>・ AITalk® Server</li> <li>・ micro AITalk®</li> </ul>
		受託開発	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® Custom Voice®</li> </ul>
	法人向けサービス (売上の20~30%)	クラウドサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® WebAPI</li> <li>・ AITalk® Web読み職人®</li> <li>・ AITalk® 声の職人® クラウド版</li> </ul>
サポートサービス		ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術サポート</li> </ul>	
コンシューマー向け製品 (売上の10~15%)		パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かんたん！AITalk®</li> <li>・ かんたん！アフレコ™</li> <li>・ AITalk® あなたの声®</li> <li>・ VOICEROID® 琴葉 茜®・葵®</li> <li>・ VOICEROID® 伊織 弓鶴™</li> </ul>

# 利用されている用途



音声対話



防災行政無線



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマホアプリ



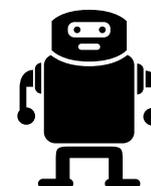
観光案内



施設案内



車内各種放送



ロボット



電話自動応答



WEBキャンペーン



WEBサービス



ゲーム



e-Learning教材



マニュアル



機器組込み



パッケージソフト組込み



ソフトOEM提供



自社サービス展開

導入実績数



1200 社

防災行政無線での  
導入自治体数



648  
市区町村

オリジナル音声辞書  
作成実績数



370 名

法人向け  
パッケージソフト  
累積販売数



1300  
ライセンス

コンシューマー向け  
パッケージソフト  
累積販売数



6万  
ライセンス以上





1. 企業概要

2. 2020年3月期 決算概要

3. 2021年3月期 事業方針

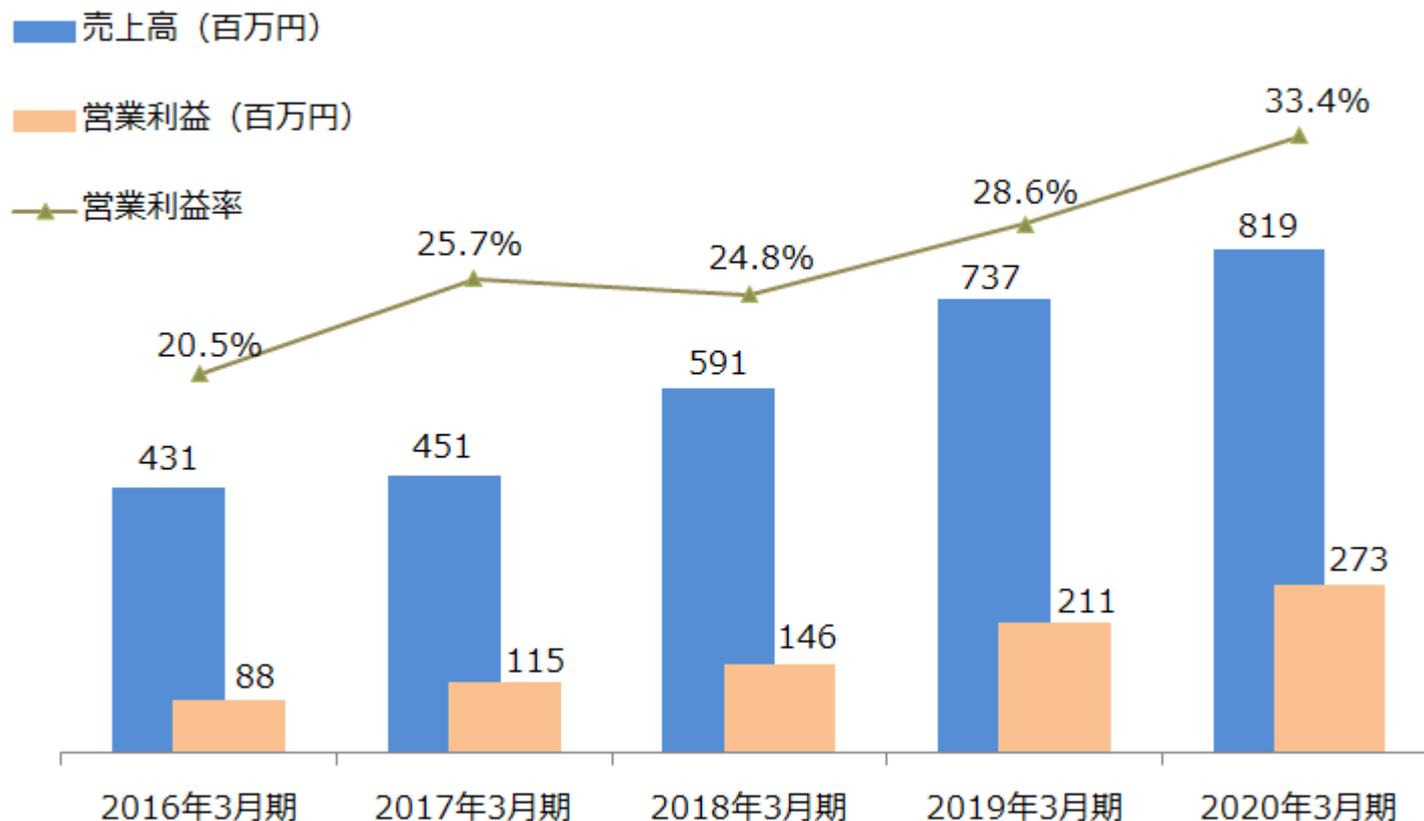


コンシューマー向け製品（売上前期比：△13.5%）は苦戦しましたが、法人向け製品（売上前期比：+17.8%）、法人向けサービス（売上前期比：+9.9%）が順調に推移し、全体としては、売上、利益ともに計画値を上回り、増収増益を達成。

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比 増減率
売上高	737	819	+11.1%
営業利益	211	273	+29.6%
経常利益	202	273	+35.1%
当期純利益	150	172	+14.9%

売上、利益ともに順調に増加し、2020年3月期の営業利益率は33.4%。



## 【法人向け製品】

- ・ 防災分野において、翻訳機能付多言語案件が増加し、各メーカーからの注文が増加。
- ・ Eラーニング、動画等のナレーション作成用途としてパッケージの売上が増加。
- ・ 放送業界における音声合成の活用が増加。

## 【法人向けサービス】

- ・ NTTドコモ社の「my daiz」サービスが大きく寄与。

## 【コンシューマー向け製品】

- ・ コンシューマー向け製品は苦戦。



- 売上が順調に推移し、増収増益を達成。
- 業務委託費、外注費を社内体制で賄ったこと等により、売上原価が減少。
- 人材の採用が予定通り進捗し、販売管理費が増加。
- 保有する投資有価証券について、超過収益力が減少していると判断し、減損処理による投資有価証券評価損 45百万円を計上。

(百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	737	100.0%	819	100.0%	+81	+11.1%
売上原価	160	21.7%	153	18.7%	△7	△4.4%
売上総利益	576	78.3%	665	81.3%	+88	+15.4%
販売管理費	365	49.6%	392	47.9%	+26	+7.2%
営業利益	211	28.6%	273	33.4%	+62	+29.6%
経常利益	202	27.4%	273	33.4%	+71	+35.1%
当期純利益	150	20.4%	172	21.1%	+22	+14.9%

- 売掛金が29百万増加したものの、投資有価証券が45百万円減少し、資産合計が22百万円の減少。
- 未払法人税等が19百万円、買掛金が10百万円増加したこと等により、負債合計が32百万円増加。
- 当期純利益の計上等により利益剰余金が132百万円増加したものの、自己株式が199百万円増加したこと等により、純資産合計が55百万円の減少。

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比 増減額
流動資産	1,115	1,137	+22
固定資産	96	51	△45
有形固定資産	13	16	+2
無形固定資産	15	8	△6
投資その他の資産	67	26	△41
資産合計	1,211	1,189	△22

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比 増減額
流動負債	105	138	+32
固定負債	2	2	±0
負債合計	108	141	+32
純資産	1,103	1,047	△55
負債・純資産合計	1,211	1,189	△22

	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
自己資本比率	91.1%	88.1%	△3.0pt
自己資本当期純利益率	16.7%	16.0%	△0.7pt
総資産計上利益率	22.8%	20.1%	△2.7pt

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2020年3月期につきましては、1株当たり配当金7円00銭と決定いたしました。

	年間配当					配当金 総額	配当 性向	純資産 配当率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計			
2020年 3月期	-	0円	-	7円	7円	35百万	20.5%	3.3%

## (S : 社会)

### ①女性活躍の推進

- ・社員40名中、女性が21名(52.5%)
- ・管理職11名中、女性が3名(27.3%)

### ②子育て支援の推進

- ・育児休業制度の活用 3名(2020年3月末日現在)

### ③働き方改革の推進

- ・残業の少ない職場環境 月平均残業時間：10.96時間
- ・休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率：85.7%

### ④社会貢献活動の推進

- ・修学旅行の社会科見学受け入れ 6校(82名)

## (G : ガバナンス)

### ①株主・投資家との対話

- ・個人投資家向け説明会の開催 1回(8月)
- ・機関投資家向け説明会の開催 2回(5月・11月)
- ・機関投資家との1on1ミーティング 43回
- ・雑誌等の取材 5件
- ・テレビ、ラジオ等の出演 2回



1. 企業概要

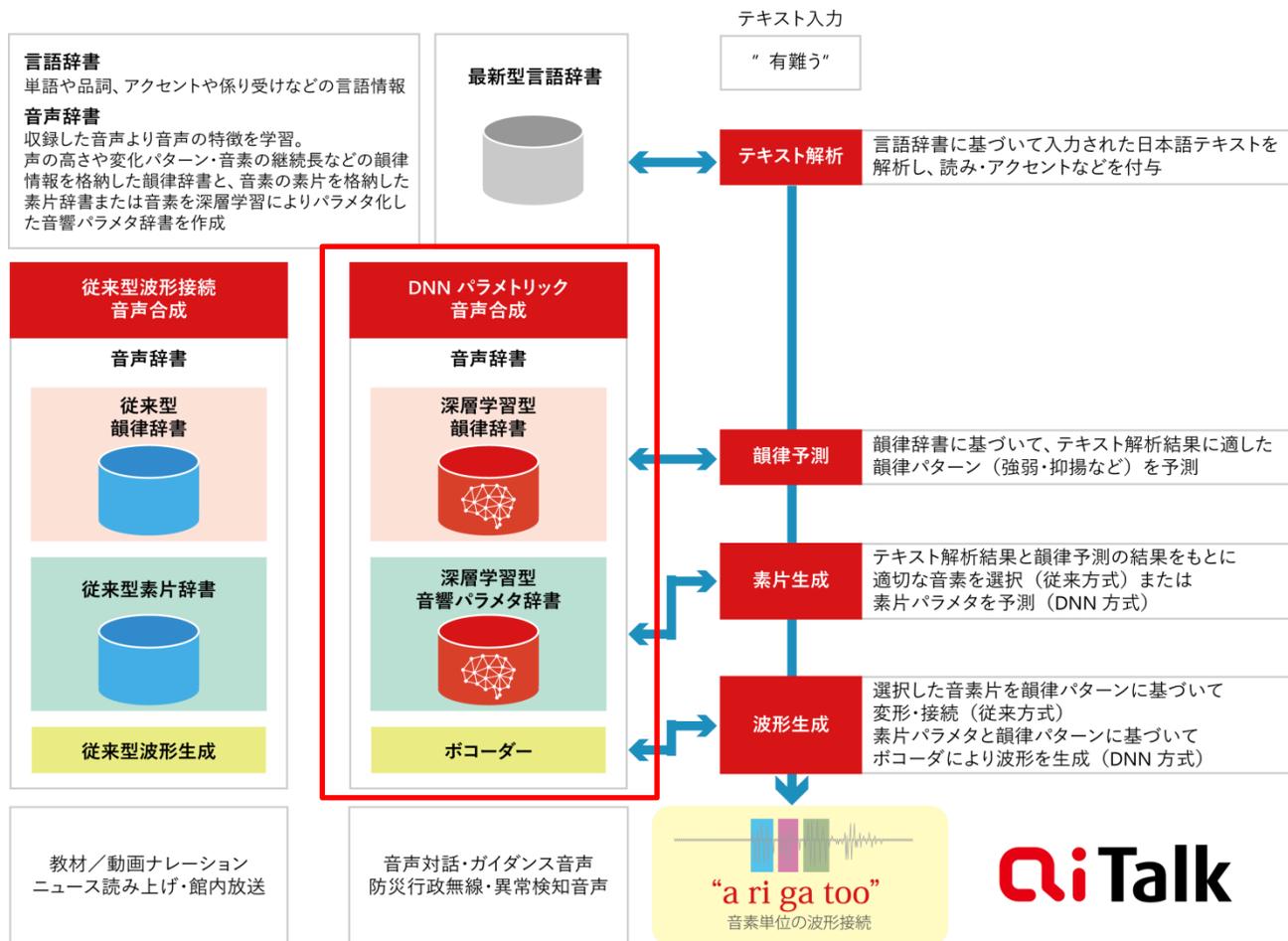
2. 2020年3月期 決算概要

3. 2021年3月期 事業方針

## ①AITalk5.0の製品化

・ 深層学習（DNN：ディープニューラルネットワーク）を活用した音声合成エンジンの製品化

\* 「AITalk®5 声の職人® パッケージ版」及び「AITalk®5 SDK」を2020年5月7日より提供開始。




## ②働き方改革の推進

- ・フレックスタイム制の導入
- ・テレワークの導入
- ・人事評価制度の見直し

## ③第20期（2023年3月期）へ向けて、更なる成長の土台作り

- ・ Cerence社との協業（車載分野）を加速
  - \* Cerence社：2019年10月、Nuance Communications社よりオートモーティブ部門がスピンオフ
- ・ 音声合成を活用した新しいマーケットの開拓
- ・ 名古屋大学 戸田教授との共同研究の推進
  - WaveNet（音声波形を生成するためのディープニューラルネットワークの一つ）などの最先端の深層学習ベースの音声合成技術の研究開発
- ・ M & Aの活用

第1フェーズ：片方向の情報提供

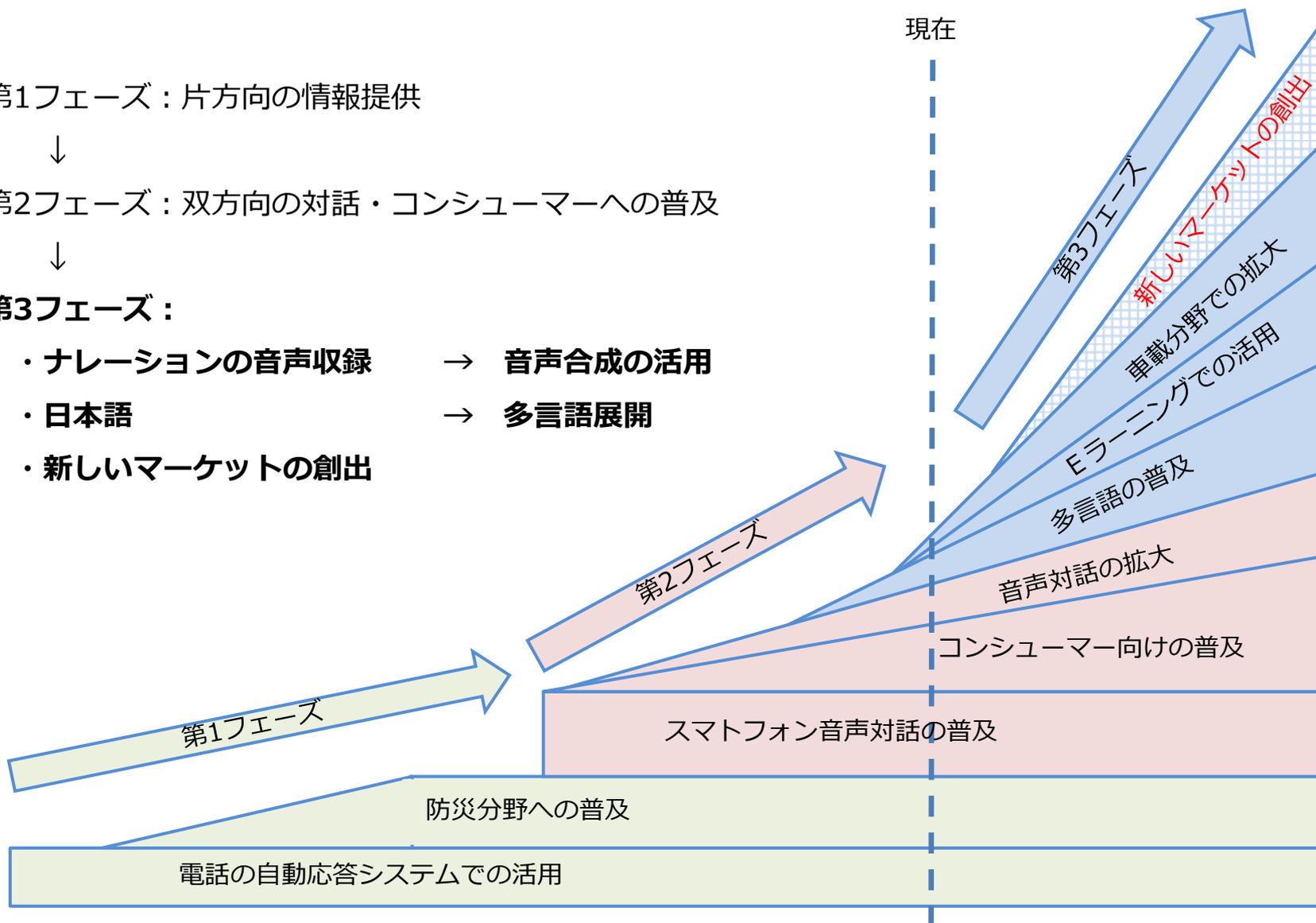


第2フェーズ：双方向の対話・コンシューマーへの普及



第3フェーズ：

- ・ナレーションの音声収録 → 音声合成の活用
- ・日本語 → 多言語展開
- ・新しいマーケットの創出



○売上については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念されるものの、音声合成市場の拡大等により、引き続き、増収を見込む。

- ①パッケージ製品等、既存マーケットの拡大
- ②働き方改革の推進、テレワークの普及により、Eラーニング分野での需要拡大
- ③コンシューマー分野の拡大

○利益については、要員の増加により、固定費の増加が見込まれるものの、売上の増加により、増益を見込む。

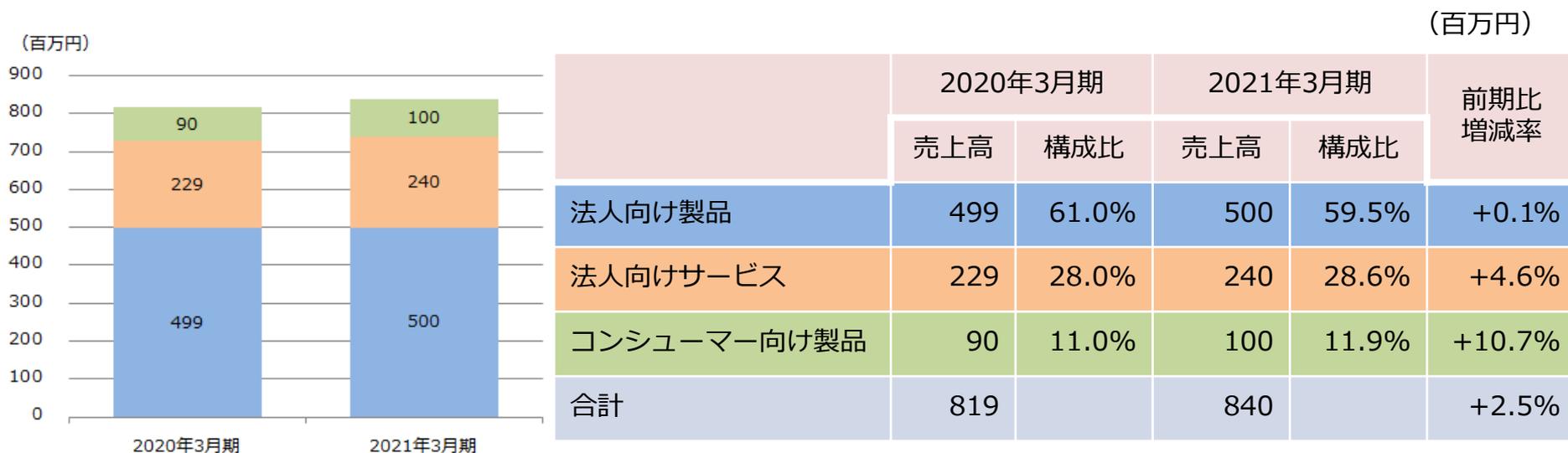
(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		増減額	
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期
売上高	311	819	340	<b>840</b>	+29	<b>+21</b>
営業利益	63	273	46	<b>280</b>	△17	<b>+7</b>
経常利益	63	273	46	<b>280</b>	△17	<b>+7</b>
純利益	49	172	35	<b>205</b>	△14	<b>+33</b>

○法人向け製品については、マーケットの拡大に加えて、テレワーク、オンライン学習の拡大等により、特にEラーニング教材での利用に関する問合せが増加している一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛による営業活動への影響が懸念され、前期並みの売上を見込む。

○法人向けサービスについては、引き続き、NTTドコモ社の「my daiz」サービスの寄与に加え、安価な「AITalk® WebAPI」「AITalk® 声の職人 クラウド版」の需要増加を見込む。

○コンシューマー向け製品については、外出自粛等の影響によりVOICEROID等の売上増を見込む。



当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2021年3月期につきましては、1株当たり配当金8円00銭を予想しております。

	年間配当					配当金 総額	配当 性向	純資産 配当率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計			
2021年 3月期	-	0円	-	8円	8円		19.7%	

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。